

の論戦
農家所得のみとおし

たといわれますが、個八の私有地である以上、公団としても町としても阻止すわけにいかなくつたもの。當時は困つたものとして見送られていたものの、いよいよことしから明年にかけて路盤工事にさしかかる事熊となつたので、イヤでも用地買収に入ることになりますが、この倉庫を伊藤氏が自費で移転させるか、公団に補償を求めるのかどううか、これに対して公団がどう処理するか、なりゆきが注目されています。